



平成 26 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社セコニックホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 馬場 芳彦  
(コード番号 7758 東証第2部)  
問合せ先 取締役管理本部長 佐藤 重朗  
(TEL 03-5433-3611)

### 特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

#### 記

当社グループを取り巻く経営環境の変化等に伴い、以下の特別損失処理をしております。

#### 1. 特別損失の内訳

(単位 百万円)

内 容	金 額	
	連 結	個 別
賃貸等不動産にかかる減損損失 当社の連結子会社である株式会社セコニックが保有する賃貸等不動産の一部について、収益性が低下したため減損処理いたしました。	184	—
中国子会社「賽科尼可電子(常熟)有限公司」にかかる減損損失等 中国の連結子会社である賽科尼可電子(常熟)有限公司については、業績が低迷していることから、主たる生産設備の回収可能価額を算出した結果、一部回収不足が認められたため減損処理いたしました。また、同子会社の純資産が著しく減少し債務超過となったことから、今後の業績見通しを検討した結果、同社に対する出資金にかかる関係会社出資金評価損を計上するとともに、同社に対する貸付金の回収不能見込み額として、債務超過額見合いの貸倒引当金を計上いたしました。	減損損失 98 — —	— 関係会社 出資金評価損 119 貸倒引当金 繰入額 183
工場移転に伴う損失に備えた引当金繰入額 中国の連結子会社深圳賽科尼可高科技有限公司については、平成 26 年 6 月に移転を予定していることから、当該移転に伴う経済補償金を合理的に見積り、工場移転損失引当金として流動負債に計上するとともに、その繰入額を特別損失として計上いたしました。	65	—
事業構造改善費用（希望退職にかかる割増退職金） 国内連結子会社の株式会社セコニック電子においては、生産体制の再整備のために希望退職を実施し、当該退職者に対する割増退職金を、第 2 四半期連結会計期間において特別損失に計上済みです。	5	—
遊休資産の減損損失 当社が保有する遊休資産の一部については、地価の下落に伴い正味売却価額まで減損し、その差額を特別損失として計上いたしました。	1	—
合計	355	303

#### 2. 今後の見通し

上記の特別損失の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください

以上